

様式(細則 5-2)

令和5年11月10日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 芦谷 英夫

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため(視察(研修))を(実施(受講))したので、その結果を報告します。

記

- 1、日 時 令和5年10月30日(月) 14時～16時30分
- 2、研修内容 自治体監査と議選監査委員を活かすための実践
- 3、研修先 オンライン
- 4、調査経費 受講料 2,000円
- 5、調査研究活動の概要 別紙のとおり



自治体監査と議選監査委員を活かすための実践（オンライン）

令和5年11月10日

1 日 時 令和5年10月30日（月）14時～16時30分

2 内 容 可児市議会議員 監査委員 川上文浩

3 概 要 「自治体監査と議選監査委員を活かすための実践」

- ① （引用＝伊藤龍峰 福岡県元監査委員 西南学院大学教授）議会の監査委員枠は「名誉職」「たらい回し」「閑職」とされ、議会選出監査委員は所属する会派の影響を受けやすく、独立性に疑問が生ずる懸念があり専門性も問題視されている。大会派が重要ポストを独占し、正副議長経験者の次の椅子であること、議会に監査結果をいかす政策サイクルがなく、政策を進化させる議会政策サイクルは必須である。
- ② 監査機能の公正性・中立性は基本中の基本であり、行財政運営の健全性・透明性を確保し、経済的・効率的なかつ効果的な事務の執行につながる。また監査委員と議会の連携により住民福祉の向上につなげ、連携は議会改革ではなく住民福祉の向上を目的とする議会機能の充実であり、議会の力で地域の未来をつくるという意識から、PDCAサイクルを徹底させ、業務の改善や改革、事後の追跡調査などを行う必要がある。
- ③ 可児市では、決算審査による予算編成への提言を行うとし、決算審査において予算決算委員会ですべての分科会を開催し、自由討議のうえ全会一致で提言内容を決定し、次年度予算編成にどう反映されたのか報告を受けている。委員会からの附帯決議や提言では委員会ですべての自由討議を行い、附帯決議や提言内容を決定し本会議で採決している。
- ④ 議会としての意見聴取とその政策反映サイクルは、予算決算委員会や各常任委員会において、計画調査、進捗管理、課題整理、改善や見直しの検討、提言案検討、提言をまとめている。その市民の意見集約とのすり合わせの場として、議会報告会、地域課題懇談会、各種団体との懇談会などを実施している。
- ⑤ 監査の機能として現場に行くことを重視し、学校監査を行い財産の保管状況、責任者からの聞き取り、台帳の整備状況、管理が適切かどうかなどチェックをする。財政援助団体監査の現地監査をすることで、現金出納帳や現金の管理の指導ができる。また監査委員として職員を守ることも必要である。
- ⑥ 学校監査を行うなど監査を充実した結果、監査に対する緊張感が増し、学校の意識改革にもつながり、また現地監査をすることで監査委員事務局の意識が変わり、現地の監査をすることで本庁所管課の管理のあり方も変わってきた。常任委員会と連携することで所管事務調査が深化するなどの成果が上がっている。

4 所 感

- ① 浜田市議会では議選監査委員廃止が狙上に上ったが、これは議選監査に疑問符が付いたものであり、これまで私案で提言した①各委員会での監査的視点の強化、②予算決算委員会での質疑や意見の次期監査への反映、③執行部の持つ行財政改革、監査・検査・審査・監督など内部牽制機能の結果の市監査機能への反映などを徹底する。
- ② そのためにも議長団、正副委員長、監査委員、事務局による連携会議を持つなど、監査権を議員全体のものとする体制を構築し、議会総体としての監査機能の発揮が必要である。
- ③ 議会として執行部を監視しチェックする機能をどう発揮するか、議選監査委員を中心としてそれを支える体制が必要であり、そのことを議会基本条例にきちんと位置付けることで議会としての意志と方針を明らかにする。